

感染防止対策チェックリスト -リハ・練習用-

〔記入日〕 令和 年 月 日

対 策	具体的な実施内容
必要な最小限度の人数とする。	
関係者が入館する際、手指の消毒を行う。	
関係者が入館する際、検温を行い、発熱がある場合は入館を控える。	
発熱の他に、下記の症状に該当する場合も、自宅待機を促す。 咳、呼吸困難、全身倦怠感、咽頭痛、鼻汁・鼻閉、味覚・嗅覚障害、関節・筋肉痛、下痢、嘔気・嘔吐	
関係者の氏名及び緊急連絡先を把握し、名簿を作成する。	
ホールの感染対策方針について、関係者全員に周知徹底を図る。	
ステージ上は、感染予防措置がとれる配置になるよう努める。	
表現上必要な場合を除いてマスクを着用する。	
楽屋は、関係者同士の社会的距離が取れる人数で利用する。	
楽屋内の換気を適宜行う。	
ケータリング等では使い捨ての紙皿やコップを使用する。	
機材や備品、用具等の取り扱い者を選定し、不特定者の共有を制限する。	
感染が疑われる者が確認された場合、速やかにホール事務局へ報告するとともに、隔離対応に協力する。	
感染が疑われる者が確認された場合、公的機関による聞き取りに協力し、必要な情報提供を行う。	

※高齢者や持病のある方が多数来場すると見込まれる場合は、感染した場合の重症化リスクが高いことから、より慎重な対応を検討してください。

【ホール記入欄】

利 用 日	令和 年 月 日 ()
利用者名 (団体名)	
担当者名	

総務課長	主事	担当